

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第170号

「巣の変化」

2025年3月31日

外を歩くと、汗ばむほど暖かい日が増えてきました。最近の空（♂）と花（♀）は絶賛抱卵中です。今回は、1月から記録していた巣作りの様子をご紹介します。



2025年1月7日

飼育員が巣材を巣台に乗せた状態です。コウノトリたちは、まだほとんど触っていないようです。



2025年1月15日

1週間ほどたつと、巣材が少し整えられ、必要のない枝は巣の外に落とされていました。



2025年1月28日

少しずつ、内側の巣材が丸くなってきました。新しい枝を運んでは、落とすを繰り返していました。



2025年2月25日

内側の巣材が更に広がってきました。全体的な巣材の量はそこまで変わってなさそうです。



2025年3月11日

花が産卵をすると、一気に巣らしくなってきました。クチバシいっぱいにつがやを運び、モフモフの産座ができあがります。



2025年3月18日

そこまで変化していないように見えますが、干ガヤと枝の量が増え、横から見ると、コウノトリの姿が見えづらくなってきました。



2025年3月25日

時々、飼育ケージ内の雑草を引っこ抜いては、巣に持って行くコウノトリたち。青々とした巢材も気に入っているようです。

コウノトリの巣作りの変化はいかがでしょうか？ 今後、この巣に変化があるのか楽しみです。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター
飼育担当：佐藤